

議事録

令和7年7月2日(水)

第18回 運営推進会議

1. 開催に際して

今回の運営推進会議は、志向を変え『体験型』として開催をいたします。

普段、ご利用者の方々がどのようなマシンを使って機能訓練をしているか、リラクゼーション活動とはどのようなものか、そして「ソープフラワー作り」にも参加していただき、レクリエーションも体験していただこうと考えております。

ぜひ、愛全園のデイサービスを肌で感じていただき、感想をお聞かせください。

本日はよろしくお願ひいたします。

2. デイサービス体験

*2階フロアでの脳機能訓練

*ソープフラワー作り

*1階フロアでのマシン体験、リラクゼーション体験

3. 活動の近況について (サービスセンター課長 國井より)

愛全園のデイサービスでは、①機能訓練②栄養評価③アクティビティ活動④口腔ケアの「4つの視点」でご利用者の元気をプロデュースしています。

5月は「口腔ケア月間」として、歯科衛生士が160名全員の口腔ケアを実施し、歯科受診などが必要であればご家族、ケアマネジャーにお繋ぎし、勧めていただいております。

また、歯磨きの重要性を皆様にお伝えしたり、歯ブラシの販売も始まりましたので、定期的に交換できる体制となっております。

6月は「機能訓練月間」を行いました。常駐している理学療法士から、自宅でできる体操を発信したり、個別の相談会を実施いたしました。自宅でできる体操は、ご家族にも好評で「毎日取り組んでいます。」とのお言葉をいただいております。

愛全園のデイサービスでは、運動だけではなく先ほど体験していただいたリラクゼーションの時間も重視しており、ホットパックや足温浴で身体を温めてたり、光療法で良質な睡眠のサポートを行っています。こちらもご利用者に好評です。

また、当センターでは「ADL維持等加算」を算定しておりますが、こちらはデイサービス全体の取得率が0.9%となっており、100件のデイサービスのうち約1件となっていることになります。この加算を当初からいただけているということは、ご利用者、ご家族の協力があったからこそです。感謝申し上げます。

7月の「栄養ケア月間」では、『熱中症に負けない身体作り』というテーマで、手作り経口補水液の作り方や、朝食の大切さをお伝えするプリントを配布しております。

皆様のお手元にもございますので、ぜひご覧ください。

4, 参加者のご紹介

ご利用者のご家族、昭島市役所保健福祉部介護福祉課ご担当者、地域包括支援センター職員、民生委員の方々にお集まりいただきました。
お忙しい中、お越しくださりありがとうございます。

5, 質疑応答

Q, 口の中をみてもらい助かっています。センターで、昭島市内のお勧めの歯医者を教えてもらえるとありがたいです。

A, 当センターでは、加算の有無に関わらず全員の方の口腔内をチェックしています。中には、義歯が合わずにストレスになっていらっしゃる方もいます。その場合、無理に義歯をつけることはせずに、義歯をつけなくても食べられるものを管理栄養士と相談しながら提供したり、チームで代替案を出し支援をしております。

また、当センターの歯科衛生士からは、特定の歯科をお勧めすることはできかねますので、担当のケアマネジャーに相談していただくなどし、ご本人と合うところを見つけていただけたらと思います。

Q, 噙みやすい食事の作り方を教えてほしいです。また、献立を SNS で発信してもらえると、その日に何を食べたかわかるのでよいと思います。

A, 当センターでは、刻み食は提供しておらず、「凍結含浸食」をご用意しております。こちらの作り方はお教えすることは難しいのですが、宅配弁当でも召し上がっていただくことができるでの、よろしければご利用ください。

献立を発信するのはよいですね、センター内でも検討してまいります。

6, 参加者より

【ご家族】

- ・デイサービスに通うようになってから、祖母がしっかりと歩けるようになりました。帰ってきてからも「今日はこういうことがあってね…」と楽しそうに話してくれるので、私たち家族も嬉しく思います。また、以前はすぐ近くのお店にも車に乗って行っていたのですが、最近は自分から歩いて行くと言ってくれるようになり、それも嬉しい変化です。
- ・歯ブラシをセンターで購入できるようになったので、自分で買いに行く手間が省け、とても助かります。

【昭島市役所保健福祉部介護福祉課】

フロア内が明るい雰囲気で、職員の方も丁寧に挨拶をしてくれ、ここなら元気が出るなあと思いました。

マシンもいろいろな種類があり、今回体験できたことで「ご利用者も体力がつくだろうな」と実感しました。

【南部地域包括支援センター】

- ・あちこちのデイサービスを見てきましたが、嘘偽りなくこちらのデイは素晴らしいと思います。歯科衛生士、理学療法士、管理栄養士と専門職がいて、マシンも様々な種類があり、ここまで熱心に取り組んでいるところは少ないです。勉強になりました。
- ・包括とセンターは同敷地内にありますが、しっかり中を見たのは初めてでした。いろいろと体験させていただいたので、担当しているご利用者にも自分がやってみて感じたことを伝えられます。よい機会になりました。

【西部地域包括支援センター】

- ・活動量が多く、担当しているご利用者にも「このデイサービスならよくなる」と伝えられます。私もいろいろなデイサービスを見ていますが、今後は『地域連携』を意識してやっていくのもよいと思います。例えば、各自治会の回覧版に、センターでの取り組みや熱中症予防についての記事などを載せてもらうなど。地域に情報を発信していくデイサービスが、今後必要になってくると思います。

【民生委員】

マシンでの運動だけでなく、リラクゼーションも体験させていただき、とてもよい時間を過ごせました。ありがとうございます。

高齢者福祉部会でも、こういったデイサービスがあることを共有していきたいと思います。

7、閉会の挨拶（サービスセンター所長 丸山より）

お暑い中、お越しくださりありがとうございます。

当センターの活動を体験していただき、いかがでしたでしょうか。

運動だけでなく、リラクゼーションの時間も設けることで、ご利用者の皆さんにはメリハリを持って過ごしていただけていると感じています。

これからも、各専門職が連携をしてサービスを行ってまいります。

本日はありがとうございました。